

当初・変更

工事執行機関 41371 富岡土木事務所

入札（見積）執行調書
入札（契約）結果書

年災		事項		契約	平成29年3月17日
工事番号	16-41371-0088	工事名	道路橋りょう整備（再復）工事（道路改良）	着工	平成29年3月21日
入札執行年月日	平成28年12月21日	発注種別	01 一般土木工事	完成	平成31年3月29日
審議番号	公所	本庁	000000		
路線・河川名	広野小高線			予定価格	
工事箇所	自 双葉郡楯葉町大字波倉地内			529,873,920	
	至				
工事概要	改良工 L=740m W=6.5m(10.75)m 函渠工N=1基				

業者コード 業者名	落札者の住所		
	入札額及び再入札額		落札額（契約額）
100002586 横山・平尾・加藤特定建設工事 共同企業体	双葉郡浪江町大字幾世橋字辻前12-2		
	(1) 489,000,000	(2)	528,120,000
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	
	(1)	(2)	
	(3)	(4)	

※ 上記入札額に、消費税額を加算した額が地方自治法上の申込みに係る価格である。
 ※ 測量等の場合、「工事名」とあるのは「業務名」と、「工事箇所」とあるのは「業務箇所」と読み替えるものとする。

条件付一般競争入札参加資格確認等一覧表

(入札執行権者 福島県相双地方振興局長
(立会人職氏名))

工事番号	16-41371-0088
工事名	道路橋りょう整備(再復)工事(道路改良)

年 月 日	公告	H28.11.15	落札者決定	H28.12.27	条件設定	地方審査委員会 本庁審査委員会	H28.10.12	資格確認	地方審査委員会 本庁審査委員会
	札 開	H28.12.21		-			-		

No.	入札参加者	入札参加資格の確認結果						入札結果	落札候補者の順位	備考
		① 工事等 請負有 資格業 者名簿に 登録され ている	② 地方自治 法施行令 第167条の 4第1項各 号のいづれ かに該当し ない	③ 入札参加 資格停止 期間中で ない	④ 会社更生 手続又は 民事再生 手続中で ない	⑤ 有効な経 営事項審 査を受けて いる	⑥ 格付要件 (有資格者名 簿の一般土 木工事) A			
	横山・平尾・加藤特定 建設工事共同企業体 コード番号0	○	○	○	○	○	○	1	489,000,000	落札者

総合評価方式評価結果

工事種別 一般土木工事

工事執行権者 富岡土木事務所長

工事番号	16-41371-0088	工事名	道路橋りょう整備(再復)工事(道路改良)	予定価格(円)	490,624,000	工期	平31.3.29限り
路線河川名	広野小高線	工事箇所	双葉郡楢葉町大字波倉地区内	工事の概要	改良IL=740mW=6.5m(10:75)m函渠IN=1基	開札予定日	平成28年12月21日
地域要件	県内	入札参加者の所在地等の評価対象地域	相双建設事務所管内			技術審査日	平成28年12月21日

入札参加者 〔入札参加者の所在地(契約する本店・支店・営業所)〕	企業の技術力 (特式第6号(特別簡易型)は様式第11号))		配置予定技術者の技術力 (特式第7号(特別簡易型)は様式第11号))		企業への地域社会に対する貢献度(特式第8号(特別簡易型)は様式第11号))										技術提案 (標準型のみ) (様式第10号)		加算点 加算点 (a)+ 加算点 (b)		
	技術者確保 指定技術士 人数		技術者 資格 保有 年数		優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数		優良 工事 表彰 表彰 人数	優良 工事 表彰 表彰 人数
	2.0点	1.5点	1.0点	0.5点															
標準型	2.0	1.5	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
横山・平屋・加藤特 定建設工事共同企 業体	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
県内企 業限 外企業 の別	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
双葉郡浪江	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
県内 [町]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
[]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
[]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
[]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
[]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
[]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
[]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
[]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
[]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
[]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
[]	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
無効を除く参加者1者合計	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	
無効を除く参加者1者平均	1.0	1.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	

※技術提案の採否は、採の場合には「○」、否の場合には「×」と表記すること。
 ※技術提案の採否が否の場合には、「加算点 (b)」の欄には「/」を記入すること。
 ※契約締結後の公表時には「技術士」、「資格保有年数」と「継続教育」、「災害出動実績」と「継続教育」、「資格保有年数」と「継続教育」、「災害出動実績」を記入して公表すること。
 ※「技術者確保数」と「技術士」、「資格保有年数」と「継続教育」、「災害出動実績」は、重複して加算しないこと。先に記載の項目の得点がない場合、後の項目が評価対象となる。
 ※選択項目については、一般土木工事又は舗装工事の場合は①～④から2項目、それ以外の工事の場合は①～③から2項目を選択する。
 ※落札者以外の場合、技術提案書の記載内容のみによる評価であり、資料等により確認したものは、無効と記載する。
 ※無効の場合は、各点数欄を空白とし、加算点合計 (a) + (b) の欄に「無効」と記載する。

様式第4号(第14条関係)

総合評価方式入札結果

工事種別 一般土木工事

工事番号	16-41371-0088	工事名	道路橋りょう整備(再復)工事(道路改良)	予定価格(円)	490,624,000	工期	平31.3.29限り
路線河川名	広野小高線	工事箇所	双葉郡楳葉町大字波倉地内	工事の概要	改良工L=740mW=6.5m(10.75)m函渠IN=1基	開札予定日	平成28年12月21日
						技術審査日	平成28年12月21日

工事執行権者 富岡土木事務所長

学識経験者の職・氏名		落札者決定基準		落札者の決定	
職業等	氏名	意見の適否	意見聴取月日	落札者決定の際の意見聴取	意見の適否
国土交通省警城国道事務所技術副所長	石井 重好	適	平成28年10月18日	不要	平成 年 月 日
国土交通省警城国道事務所技術副所長	佐藤 実	適	平成28年10月18日	不要	平成 年 月 日

入札参加者	入札参加者の所在地 (契約する本店・支店・営業所)	標準点	加算点	標準点 +加算点 (A)	入札額 (円:税抜き) (B)	評価値算出価格 (円:税抜き) (C)	評価値 (A/C) ×10,000,000	順位	低価格入 札の該当	備 考
横山・平尾・加藤特定建設 工事共同企業体	双葉郡浪江町	100	39.5	139.5	489,000,000	489,000,000	2.8527			
入札参加者1者										

※評価値は少数第5位を切り捨て、少数第4位まで表記する。ただし、表記の値では順位が分らない場合は、順位が分かる桁数で表記する。開札時点で有効の入札参加者は全て順位を記載すること。
 ※契約締結後の公表時には予定価格を記載して公表すること。また、備考欄には、「落札者」無効(理由も記載すること)、「失格(理由も記載すること)」等を記載すること。
 ※学識経験者の欄が不足する場合は、「別紙のとおり」と記載して会議出席者名簿等を添付すること。
 ※低価格入札の該当欄には、調査基準価格を下回った入札の場合「低価格入札」、調査基準価格を下回らなかった入札の場合「—」を記載すること。

施工計画の適切性に対する評価結果 (標準型)

工事種別 一般土木工事

工事執行権者 富岡土木事務所長

工事番号	16-41371-0088	工事名	道路橋りょう整備(再復)工事(道路改良)	工事箇所	路線・河川名
工事概要	改良IL=740mW=6.5m(10.75)m函渠IN=1基		双葉郡檜葉町大字波倉地内		広野小高線

入札参加者	施工計画の適切性 配点100点(総合評価方式における加算点配点10点)													総合評価方式における加算点		
	様式第9号(その1) 工事の工程表 25点				様式第9号(その2) 工程、品質、出来形及び安全管理計画 25点					様式第9号(その3) 施工計画概要書 25点					様式第9号(その4) 主要工種の施工計画 25点	
	項目	1 工程計画	2 工事実施に当たつての留意点	3 特に優れている点	1 工程管理計画	2 品質管理計画	3 出来形管理計画	4 安全管理計画	5 特に優れている点	1 工事実施上の留意点とその対策	2 地域対策	3 工事管理組織体制	4 特に優れている点		1 施工計画	2 特に優れている点
															合計	
株式会社 横山・平尾・加藤特定建設工事共同企業体	10	7.5	0	0	5	5	2.5	10	0	12.5	5	2.5	0	20	0	
—																
—																
—																
—																
—																
—																
—																
—																
合計														80		7

※ 施工計画の適切性が不適である場合、不適となった項目の点数欄に「不適」と記載し、他の項目の点数欄には「*」と記載する。

入 札 公 告

条件付一般競争入札を行うので、地方自治法施行令(昭和22年政令第16号。以下「施行令」という。)第167条の6第1項及び福島県財務規則(昭和39年福島県規則第17号)第246条第1項の規定により公告する。

平成28年11月15日

福島県相双地方振興局長 御代 典文

1 入札に付する事項

工事番号	16-41371-0088	
工事名	道路橋りょう整備(再復)工事(道路改良)	
工事箇所	双葉郡楢葉町大字波倉地内(広野小高線)	
工事概要	改良工 L=740m W=6.5(10.75)m 函渠工 N=1基	
完成期限	平成31年3月29日限り	
予定価格	***円 (消費税及び地方消費税相当額を含む。)	左の欄に金額の表示がない場合は、予定価格は契約締結後に公表する。
最低制限価格	該当なし	・該当する場合は、施行令第167条の10第2項に基づき最低制限価格を設定する工事である。
総合評価方式	標準型	・該当する場合は、価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式の適用工事である。 ・落札候補者の決定方法及び総合評価の方法については、入札説明書による。 なお、当該入札では評価基準価格を設定する。
低入札価格調査	該当	・該当する場合は、施行令第167条の10の2第2項の規定に基づく低入札価格調査制度適用工事である。
施工体制事前提出方式	該当なし	・該当する場合は、福島県施工体制事前提出方式の適用工事である。 ・施工体制事前提出方式における失格基準、調査内容及び様式等については、入札説明書による。
電子入札	該当	・該当する場合は、電子入札対象工事である。 ・電子入札に参加するには、下記アドレスより事前登録が必要である。 ・電子入札システム(アドレス) http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115c/nyusatsu-98.html
電子閲覧	該当	・該当する場合は、電子閲覧対象工事である。 ・電子閲覧システム(アドレス) http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/01115c/nyusatsu-96.html
現場代理人の常駐義務の緩和	該当	・該当する場合は、この工事については、落札者の申請に基づき発注者が認める場合、先行工事の現場代理人をこの工事の現場代理人とすることができる。この場合、発注者は必要な条件を付すことができる。
再資源化等	該当	・該当する場合は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。
混合入札	復興JV以外	該当なし ・該当する場合は、単体企業又は特定建設工事共同企業体での参加を認める混合入札である。
	復興JV	該当 ・該当する場合は、単体企業又は福島県建設工事に係る共同企業体取扱要綱附則第3項で規定する別に定めるものについて(平成23年12月28日付け23財第1971号通知(平成25年9月3日一部改正))における特定建設工事共同企業体での参加を認める混合入札である。

2 入札に参加する者に必要な資格に関する事項

入札に参加する者は、次に掲げる条件及び入札説明書に掲げる条件をすべて満たしている者であること。

(1) 単体企業の場合

発注種別	一般土木工事	・福島県平成 27・28 年度工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されている者であること。
格付等級	A	
許可業種	土木工事業	・建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）の左の欄に表示した業種の許可を受けている者であること。
地域要件	県内	・県内とは、福島県内に本店を有する者であること。
技術者の工事経験	必要なし	<p>・左の欄に表示した工事経験（配置技術者としての経験）がある監理技術者又は主任技術者を工事現場に専任で配置できる者であること。（ただし、請負金額が 3,500 万円未満（建築一式工事の場合は 7,000 万円未満）になる場合は、専任を要しない。）工事経験とは、現在雇用関係にある企業以外での経験も含め、左の欄に表示した期間に元請（JV の場合は、出資割合が 20% 以上の構成員であって、共同施工方式ではなく、分担施工方式による場合は、分担した工事が左の欄に表示した工事に該当する場合に限る。また、公共工事に限る（発注種別が建築工事、電気設備工事又は暖冷房衛生設備工事であるときを除く。）。なお、ここでいう公共工事とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（実績当時のもの）で規定される公共工事の発注者、土地開発公社、地方道路公社、地方住宅供給公社、下水道公社、土地区画整理組合、市街地再開発組合、土地改良区、公立大学法人福島県立医科大学又は公立大学法人会津大学が発注する工事をいう。以下同じ。）の配置技術者として携わった経験をいい、この場合配置技術者としての経験とは、建設業 法第 26 条第 1 項で規定する主任技術者又は同条第 2 項で規定する監理技術者としての経験をいう。</p> <p>・監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。</p>
企業の工事实績	必要なし	・元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事实績がある者であること。
企業の工事規模実績	必要なし	<p>・元請として、左の欄に表示した期間に、1 件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績（JV の場合は、出資比率に相当する額とする。）があること。</p> <p>ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は 1 件とみなす。</p>
JR 近接工事	該当なし	<p>・東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できる者であること。</p> <p>なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者（在来線）資格認定証」を有する者をいう。</p>

(2) 特定建設工事共同企業体の場合

構成員の数	・2 者又は 3 者であること。
構成員の組み合わせ	<p>・構成員全員が、構成員共通の資格要件を満たすこと。</p> <p>・代表構成員の資格要件を満たす者 1 者及びその他の構成員の資格要件を満たす者 1 者又は 2 者の組み合わせであること。</p>
結成方法	・自主結成であること。

各構成員の出資割合		<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 者の場合は、各者 30%以上であること。 ・ 3 者の場合は、各者 20%以上であること。 	
構成員 共通の 資格要件	技術者の工事経験	<p>左の欄に表示した工事経験（配置技術者としての経験）がある監理技術者又は主任技術者を工事現場に専任で配置できる者であること。（ただし、請負金額が 3,500 万円未満（建築一式工事の場合は 7,000 万円未満）になる場合は、専任を要しない。）工事経験とは、現在雇用関係にある企業以外での経験も含め、左の欄に表示した期間に元請（JV の場合は、出資割合が 20%以上の構成員であって、共同施工方式ではなく、分担施工方式によるときは、分担した工事が左の欄に表示した工事に該当する場合に限る。また、公共工事に限る（発注種別が建築工事、電気設備工事又は暖冷房衛生設備工事であるときを除く。）。なお、ここでいう公共工事とは、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律（実績当時のもの）で規定される公共工事の発注者、土地開発公社、地方道路公社、地方住宅供給公社、下水道公社、土地区画整理組合、市街地再開発組合、土地改良区、公立大学法人福島県立医科大学又は公立大学法人会津大学が発注する工事をいう。以下同じ。）の配置技術者として携わった経験をいい、この場合配置技術者としての経験とは、建設業法第 26 条第 1 項で規定する主任技術者又は同条第 2 項で規定する監理技術者としての経験をいう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者であること。 	
	必要なし		
代表構成員の 資格要件	発注種別	一般土木工事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福島県平成 27・28 年度工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されている者であること。 ・ 建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）の左の欄に表示した業種の許可を受けている者であること。 ・ 県内とは、福島県内に本店を有する者であること。 ・ 元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事实績がある者であること。 ・ 元請として、左の欄に表示した期間に、1 件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績（JV の場合は、出資割合に相当する額とする。）があること。 ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は 1 件とみなす。 ・ 東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できる者であること。 なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者（在来線）資格認定証」を有する者をいう。 ・ 構成員のうち最大であること。出資割合が同じ場合においては、施工能力の大きいものであること。 ・ 福島県平成 27・28 年度工事等請負有資格業者名簿の左の欄に表示した発注種別において、左の欄に表示された格付等級に登録されている者であること。 ・ 建設業法（昭和 24 年法律第 100 号）の左の欄に表示した業種の許可を受けている者であること。 ・ 福島県平成 27・28 年度工事等請負有資格業者名簿に登録されているものであること。 ・ 元請として、左の欄に表示した期間に、左の欄に表示した工事实績が
	格付等級	A	
	許可業種	土木工事業	
	地域要件	県内	
	企業の工事实績	必要なし	
	企業の工事規模実績	必要なし	
	J R 近接工事	該当なし	
	出資割合		
その他の 構成員の 資格要件	発注種別	一般土木工事	
	格付等級	A 又は B	
	許可業種	土木工事業	
	地域要件	全国	
	企業の工事实績		

必要なし	ある者であること。
企業の工事規模実績 必要なし	・元請として、左の欄に表示した期間に、1件当たりの請負金額が左の欄に表示した金額以上の施工実績（JV の場合は、出資割合に相当する額とする。）があること。 ただし、同一工事について、複数年度にわたって受注した場合は1件とみなす。
J R 近接工事 該当なし	・東日本旅客鉄道株式会社の「工事管理者」の資格を有する恒常的な雇用関係にある者を工事現場に配置できる者であること。 なお、「工事管理者」とは、東日本旅客鉄道株式会社が認定する「工事管理者（在来線）資格認定証」を有する者をいう。

3 入札参加手続等

本件入札においては、開札後に入札参加資格の審査を行うため、事前の入札参加申請手続等は要しない。（電子入札対象工事にあつては、電子入札システムにより開札を行うため、入札参加者は当該システムにて、必ず、入札参加の受付をする必要がある。）

設計図書等の質問受付方法、入札書等の提出、落札候補者の公表及び入札結果の公表については、入札説明書による。

設計図書等の閲覧、入札執行などの期間や場所は次に示すとおりとする。

項目	期間又は期日	場所等
設計図書等の 閲覧等	平成28年11月15日（火）～ 平成28年12月6日（火）	電子閲覧システム
設計図書等の 質問	平成28年11月15日（火）～ 平成28年11月21日（月）	双葉郡広野町大字下浅見川字広長120番1 福島県富岡土木事務所総務課 電話番号 0240-23-6601 ファクシミリ 0240-23-6607 電子メール tomioka.doboku@pref.fukushima.lg.jp
質問の 回答予定	平成28年11月24日（木）	福島県相双地方振興局出納室ホームページ ※入札書等の提出前に、必ずホームページにて、 質問回答の有無を確認すること。
入札参加受付	平成28年12月5日（月）～ 平成28年12月6日（火）	電子入札の利用時間は、午前9時から午後5時まで （福島県の休日を守る条例（平成元年福島県条例 第7号）第1条第1項に規定する県の休日を除く。） となります。
入札書等の 提出	平成28年12月20日（火） 午前9時00分～ 午後5時00分	
開札	平成28年12月21日（水） 午後1時30分	開札は公開とする。 南相馬市原町区錦町一丁目30番地 福島県南相馬合同庁舎 南庁舎4階401会議室
落札者の決定 予定日	平成28年12月28日（水）	

4 入札参加資格要件の審査に関する事項

落札候補者が決定した場合は、開札後速やかに当該落札候補者に電話等確実な方法により通知する。
なお、落札候補者の入札参加資格要件の審査、落札者の決定及び入札参加不適格の通知については、入札説明書による。

5 入札保証金及び契約保証金

入札保証金及び契約保証金については、入札説明書による。

6 入札の無効

2の入札に参加する者に必要な資格のない者がした入札及び福島県工事等競争入札心得等において示す入札に関する条件等に違反した入札は、無効とする。

7 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法に関する試行工事

(1) 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下、「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、土木工事標準積算基準(福島県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。

営繕費：労働者送迎費、宿泊費、借上費

労務管理費：募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用

(2) この工事は、「東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について」(技術管理課 HP: <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025b/torikumi.html> 参照)を適用し積算している工事である。

8 契約の成立

本工事は、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例(昭和39年福島県条例第21号)第2条の規定に基づき、福島県議会の議決を得たときに成立するものとする。

ただし、契約の相手方の決定後、議決までの間に契約の相手方(法人である場合は、法人の役員又はその使用人)が逮捕されるなど反社会的な行為等があり、その者を契約の相手方とすることが適当でないと認めるときは、契約を締結しない。

9 その他詳細は、入札説明書による。また、不明な点は次に示すところに照会すること。

問い合わせ先 福島県相双地方振興局出納室
 電話番号 0244-26-1302
 ファクシミリ 0244-26-1306
 電子メール souso.suito@pref.fukushima.lg.jp

(参考) 提出する書類一覧表

提出書類	電子入札対象工事の場合	
	入札参加受付時	入札書等提出時
技術提案書	○(注1)(注2)	
特定建設工事共同企業体協定書(福島県建設工事に係る共同企業体取扱要綱様式第2号に準じる。)の写し	○(注1)(注3)	
入札書		システムに入力
見積内訳書		○(注1)
見積内訳総括表 (低入札価格調査事務処理要領様式第6号)		○(注1)
工事費内訳書 (福島県施工体制事前提出方式試行要領様式1号)		—
下請工種内訳書 (福島県施工体制事前提出方式試行要領様式2号)		—

※ 電子入札における留意点

(注1) 添付するファイル(任意のファイルを添付する場合を除く。)を間違えた場合、入札を無効とすることがありますので注意してください。

(注2) 総合評価方式(標準型)の場合、様式第9号(その1~その4)及び様式第10号の提出時期は、競争参加資格確認の翌日になります。

(注3) 特定建設工事共同企業体で参加する場合には、電子入札システムにて入札参加の受付をする際に技術提案書と一緒に特定建設工事共同企業体協定書(福島県建設工事に係る共同企業体取扱要綱様式第2号に準じる。)の写しを添付してください。

